

2012年1月期12月度 月次業績動向 (2011年11月21日～2011年12月20日)

会社名 ピープル株式会社

コード: 7865 TEL: 03-3862-2768
(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子 問い合わせ先 IR担当 飛田留美子

(単位:千円)

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2011年1月期 12月度	2012年1月期 12月度	前年 同月比	10/1/21～ 10/12/20	11/1/21～ 11/12/20	前年 同期間比	09/12/21～ 10/12/20	10/12/21～ 11/12/20	前年 同期間比
売上高	400,022	413,393	103.3%	2,775,796	2,733,761	98.5%	2,915,612	2,873,651	98.6%
営業利益	120,250	114,280	95.0%	440,392	379,869	86.3%	393,441	319,749	81.3%
経常利益	129,887	114,467	88.1%	464,179	383,217	82.6%	419,079	312,087	74.5%
税引前利益	129,887	114,467	88.1%	464,179	381,313	82.1%	419,073	310,186	74.0%
流動資産	2,281,053	2,295,145	100.6%	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p align="center">【2012年1月期 第4四半期予想】 (2011/12/2発表)</p> <p align="center">〔第4四半期会計期間(10/21～2012/1/20)予想〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高8億30百万円(前年同期間比13.7%減) ・営業利益98百万円(同比49.6%減) <p align="center">【通期(2011/1/21～2012/1/20)予想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高28億00百万円(前年同期間比4.0%減) ・営業利益2億59百万円(同比31.9%減) </div>					
固定資産	155,384	164,674	106.0%						
流動負債	432,210	468,246	108.3%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,954,226	1,941,573	99.4%						
総資産	2,436,437	2,459,819	101.0%						

商品カテゴリ一名	2011年1月期 12月度	2012年1月期 12月度	当月 構成比	10/1/21～ 10/12/20	11/1/21～ 11/12/20	当期間 構成比	09/12/21～ 10/12/20	10/12/21～ 11/12/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	146,202	173,219	41.9%	1,094,865	1,046,408	38.3%	1,141,307	1,102,425	38.4%
女兒玩具	147,516	138,337	33.5%	680,356	708,612	25.9%	742,305	762,642	26.5%
遊具・乗り物	84,511	90,216	21.8%	694,441	707,184	25.9%	717,694	726,294	25.3%
その他	21,793	11,620	2.8%	306,134	271,557	9.9%	314,306	282,289	9.8%
合計	400,022	413,393	100.0%	2,775,796	2,733,761	100.0%	2,915,612	2,873,651	100.0%

12月度新発売商品

当月新発売した商品はありません。

前月11月度にご報告の通り、当12月度は急遽中国工場移動を余儀なくされた「乳児・知育玩具カテゴリ」の主力アイテムが、1ヶ月以上の欠品から供給再開にこぎつけたことから、売上高は4億13百万円の前年同月比3.3%増となりました。

一方、市場の方では、玩具・自転車双方ともに消費者の購買行動が極端にX'mas3連休、23・24・25日に集中し、玩具部門では特に流通での仕入見込み誤差も生じ、商品によってはX'mas後の市場在庫調整が次月に生じてくると思われます。

供給再開した乳児・知育玩具カテゴリでは、11月度の落ち込みをリカバーするように出荷されましたが、「やりたい放題ビッグ版」などが潤沢に市場に並んだのは12月中旬頃となり、短期間のセリアウトには限界があったようです。同カテゴリでは「お米のおもちゃ」シリーズが全般にX'masギフトとして前年にはない売上増につなげました。

前月11月度に仮需要出荷が順調に進んだ女兒玩具では、12月に入り、一時玩具市場全般のセリアウトの伸び悩みもあり、ようやく3連休3日間で、棚に商品が無くなる店も出てきたようです。既存品の「エコパピエ」も堅調な動きを示しました。

自転車市場では、3連休の集中片寄りの上に寒波も影響し、幼児車全体に前年実績に届かない傾向もあり、当社においてもその影響を若干受けている様子が見えます。

なお、タイの洪水後の状況は、現在もなお、工場復旧再稼働は当面凍結状態が続く見通し一方で、水没を免れた当社商品の金型設備の一部が使用可能な状態にあることが判明し、別の工場での製造再開に着手しています。

このような状況から、米国向けピタゴラスシリーズの再供給に向け、中国での製造を立上げるべく、新設備の準備にとりかかっており、供給再開は4月頃より徐々に開始する見通しです。